

平成30年梅雨期豪雨対応産地緊急支援事業に関する事業評価票

(1) 営農再開支援

事業実施主体名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況			具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			被害面積(事業 実施対象面積)	営農再開のため 使用可能となっ た面積	達成率		
倉敷市	30年度	被災農地における平成30 年度中の営農再開	35.6ha	35.6ha	100%	資材の調達等支援 ・作業委託	適切に事業実施し、目標 を達成している。
		被災農地における平成30 年度中の営農再開	0.499ha	0.499ha	100%	資材の調達等支援 ・資材調達(種子・ 苗・肥料・農薬等)	適切に事業実施し、目標 を達成している。
		被災農地における平成30 年度中の営農再開のため の栽培環境の適正な確保	23.5ha	23.5ha	100%	栽培環境整備支援 ・刈り倒し ・除草剤散布	適切に事業実施し、目標 を達成している。
		被災農地における平成30 年度中の営農再開のため の栽培環境の適正な確保	11.3ha	11.3ha	100%	栽培環境整備支援 ・土壌診断	適切に事業実施し、目標 を達成している。
岡山市農協青果物生産組 合黄ニラ部会	30年度	被災した農地における平 成30年度中の営農再開	7.36ha	7.36ha	100%	資材の調達等支援 ・種苗、生産資材等	適切に事業実施し、目標 を達成している。
		被災した農地において平 成30年度中に営農再開の ために適切な環境を確保	7.36ha	7.36ha	100%	栽培環境整備支援 ・農薬、肥料	適切に事業実施し、目標 を達成している。
農福連携豪雨災害復興協 議会	30年度	被災した農地の平成30年 度中の営農再開	7.6ha	7.6ha	100%	資材の調達等支援 ・種子・培土・農薬・ ビニール・マルチ・肥 料	適切に事業実施し、目標 を達成している。

事業実施主体名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況			具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			被害面積(事業 実施対象面積)	営農再開のため 使用可能となっ た面積	達成率		
笠岡市	30年度	被災した農地において平成30年度中に営農再開する	0.8ha	0.8ha	100%	資材の調達等支援 ・種苗（バラ）、球根（ユリ）	適切に事業実施し、目標を達成している。
		被災した農地において平成30年度中に営農再開のための適切な環境を確保する	0.8ha	0.8ha	100%	栽培環境整備支援 ・土壌改良剤（ポートモス）	適切に事業実施し、目標を達成している。
安佐北区薬物野菜生産グループ	30年度	被災した農地における平成30年度中の営農再開	8.9ha	8.9ha	100%	資材の調達等支援 ・種子・被覆資材	適切に事業実施し、目標を達成している。
愛媛たいき農業協同組合	30年度	被災した農地等による30年度中の営農再開	1.76ha	1.76ha	100%	資材の調達等支援 ・苗、生産資材、肥料購入	適切に事業実施し、目標を達成している。
えひめ南農業協同組合	30年度	被災した農地等における平成30年度中の営農再開	2.02ha	2.02ha	100%	資材の調達等支援 ・肥料、マルチ、ネット、誘引資材	適切に事業実施し、目標を達成している。
		運搬用トラックの共同利用による、被災した農地における平成30年度中の営農再開	8.38ha	8.38ha	100%	資材の調達等支援 ・農業機械レンタル10台	適切に事業実施し、目標を達成している。

(2) 集出荷施設等における農作物の出荷円滑化等支援

事業実施主体名	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況			具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			集出荷施設等数	農作物の出荷円滑化が実現された集出荷施設等数	達成率		
岡山市農協青果物生産組合黄ニラ部会	30年度	結束機1台の再取得と冷蔵ユニット更新を行い、出荷作業効率の改善と出荷量・出荷品質の確保に努める	1	1	100%	施設の仮復旧等 ・自動梱包機、冷蔵機修繕	適切に事業実施し、目標を達成している。
岡山市農業協同組合上道ぶどう部会	30年度	ぶどう集出荷施設の機能回復を図り、出荷の円滑化を図る	1	1	100%	施設の仮復旧等 ・選果ラインの機能回復一式	適切に事業実施し、目標を達成している。
〇郷青果物出荷組合	30年度	ぶどう集出荷施設の機能回復を図り、出荷の円滑化を図る	1	1	100%	施設の仮復旧等 ・選果ラインの機能回復一式	適切に事業実施し、目標を達成している。
株式会社ヒロシマ・コープ	30年度	加工原材料となる農産物を他県加工施設へ輸送し、加工処理することで加工処理体制を回復させ、果樹産地の販売を確保する	1	1	100%	周辺出荷施設等の活用 ・加工原料の輸送	適切に事業実施し、目標を達成している。
愛媛たいき農業協同組合	30年度	周辺集出荷施設等の活用：平成31年3月末までにライスセンターを新設し、集出荷体制を回復	1	0	0%	周辺集出荷施設等の活用 ・隣市のRC施設への輸送	施設完成の遅延により成果目標は達成しなかったが、平成30年産米は隣接施設への移送により、令和元年産米は新設施設により集出荷体制を回復したことから、改善指導は行わないこととする。
		被災した栗選果場の仮復旧と出荷の回復	1	1	100%	施設の仮復旧等 ・選果機等施設の復旧	適切に事業実施し、目標を達成している。
東宇和農業協同組合	30年度	手作業によりきゅうりの選果作業を補い、出荷の回復を図る	1	1	100%	集出荷機能等の強化 ・手選果作業	適切に事業実施し、目標を達成している。